

▼人口のうごき

人口 113,982人 (+137人)
 男 54,629人 (+93人)
 女 59,353人 (+44人)
 世帯 48,624世帯 (+161世帯)
 平成24年4月末日現在
 住民基本台帳登録数()内は前月比

▼テレホンサービス

- 市政だより
0897-53-1500 (常時)
- 当番病院
0897-58-2200 (常時)
- 災害情報
0897-55-5551 (発生時)

▼編集後記

1年が過ぎるのは速いもので、ドタバタしている間に広報を担当して2年目になりました…。
 昨年と比べて、少しは前進できているのか、写真を撮っても「今年は、ここから撮ろう」と今年の自分との違いを感じています。
 ただ夢中で前進した昨年度でしたが、今年度はもう少し周りを確認しながら、童話「ウサギとカメ」のカメのように少しずつでも前進していきたいです。
 まあ、実際自分の生まれた年は、ウサギなのですが…。(し)

シリーズ「知ってほしいそうで案外知られていないんじゃないかな？」第二弾は、水見の大久保に鎮座まします四郎兵衛さんの祠です。
 あらためて言うまでもないことですが、ざっと戦国時代の戦(いくさ)というのは武家だけの戦いではなく、戦場となった地域に住み暮らす人々みんなを巻き込んで、いわば故郷総

力戦なんですね。実は四郎兵衛さんも、地元で土地持ち農家のご隠居でした。が、いよいよ羽柴秀吉の命を承けた小早川隆景の率いる大軍勢が押し寄せてきた時には、自家の使用人らを引き連れて高尾城へ参陣したのです。
 もとより高尾城には、兵糧も武器も不足しています。四郎兵衛さんたちは、鍬や鋤や鎌や鉋などを武器にして、攻めてくる敵兵に向かって、岩や石ばかりか鍋や釜、さらには肥溜めの肥やしまでを投げ落として抗戦したのです。鍬・鋤や鎌をはじめ、鍋や釜なども生活必需品で、当時は壊れたら修理して使いきるほどの貴重品でした。要するに文字どおり決死の覚悟で、故郷を死守しようと奮闘してくれ



▲四郎兵衛さんの祠のほど近くは、この天正の陣で無念の最期を遂げた人々を葬った「千人塚」もあります。



▲郷土のために戦った四郎兵衛さんの祠

たのですね。そんな四郎兵衛さん、今は国道11号の南方に沿った旧街道の傍らの小さな祠の中からのこと、行き交う人々みんなを優しく見守ってくれています。



我が心の西条
 第六回
 歴史小説家 菅 靖 匠

西条バードウォッチング

Saijo Bird Watching

No.82 イソヒヨドリ (留鳥)

全長23cm、海岸の岩場に住むヒヨドリに似た鳥という意味で付いて名前ですが、ヒヨドリ科の仲間ではなくツグミ科の鳥です。雄は上面が青色、下面が赤褐色の美しい鳥、よく通る澄んだ声でさえずります。西条では港新地や禎瑞難波の海岸沿いの堤防や消波ブロックの上に止まっているところが見られます。



撮影：十亀茂樹

広告欄

広告欄

食卓に安心を  肉の

TAJIMA

西条市氷見 とうしょく氷見店内 ☎0897-57-7071
 西条市丹原町 とうしょく丹原店内 ☎0898-68-0040

「耳つぼ」で、心も体も Refresh

買物ついでに昼寝で、疲れまじょう

- 耳つぼで リバウンドしない体作り 冷え、むくみがとれる 鼻炎・耳鳴りにも!
- 最新の電流で 部分痩せ 美顔
- ひまし油湿布

いつまでも健康でいたいから

リラクゼーション

西条市喜多川729-1 うさみビル1F

ダイヤル ☎0120-56-8505

10:00~22:00 月曜日 完全予約制